

足場・型枠支保工設計指針

目次

第1編 足場

第1章 総論

1. 適用範囲	1
2. 用語	1
3. 足場の選定	2
4. 材料・部材の選定	3
5. 材料・部材の許容応力度等	5
6. 材料のヤング係数	10
7. 設計荷重	11
8. 荷重と部材の検討	12
9. 風荷重に対する許容応力度の割増し	13
10. 応力算定	14
11. 部材算定	15

第2章 枠組足場

1. 主要部材等の検討事項	17
2. はりわくを用いる場合	24
3. 朝顔を取り付ける場合	30
4. 拡幅わく・狭幅わくを用いる場合	33
5. 足場が躯体よりはみ出す部分がある場合	34
6. 持送りわく（ブラケット）を取り付ける場合	42
7. 荷受け架台を取り付ける場合	44
8. 高さ45mを超える足場の場合	51
9. 棚足場として使用する場合	52

第3章 単管足場

1. 主要部材等の検討事項	63
2. 開口部を設ける場合	68
3. 棚足場として使用する場合	71
4. 高さ31mを超える足場の場合	73

第4章 くさび緊結式足場

1. 主要部材等の検討事項	75
2. くさび式足場用梁枠を用いる場合	79

第5章 張出し足場	
主要部材等の検討事項	80
第6章 ブラケット一側足場	
主要部材等の検討事項	104
第7章 つり棚足場	
主要部材等の検討事項	110
第8章 移動式足場	
主要部材等の検討事項	118

第2編 型枠支保工

第1章 総論	
1. 適用範囲	129
2. 用語	129
3. 型枠及び型枠支保工の選定	130
4. 材料・部材の選定	131
5. 材料・部材の許容応力度等	132
6. 材料のヤング係数	138
7. 設計荷重	139
8. 荷重の組合せと部材の検討	146
9. 応力算定等	147
10. 部材算定	148
11. 基礎	150
第2章 パイプサポート式型枠支保工	
1. 主要部材等の検討事項	151
2. 傾斜部分がある場合	154
第3章 軽量支保ばり式型枠支保工	
主要部材等の検討事項	156
第4章 枠組式型枠支保工	
1. 主要部材等の検討事項	170
2. タワー状として使用する場合	176
第5章 組立鋼柱式型枠支保工	
主要部材等の検討事項	183
第6章 くさび緊結式型枠支保工	
主要部材等の検討事項	186

資料 1	部材別許容支持力等一覧表	212
資料 2	鋼管の許容座屈荷重表	214
資料 3	風荷重の算定方法	215
資料 4	単純梁の反力等一覧表	228

(特記事項)

- (1) 本指針では国際単位「SI 単位」への換算方法の原則として、重力加速度 g を $g = 9.80665 \text{ m/s}^2$ として換算し、換算後の有効数字の桁数が換算前の有効数字の桁数になるように四捨五入した。
なお有効数字が 3 桁以上のものは 3 桁とした。
- (2) 本文中のイラストは要件の説明のためであり、他の部材を省略している場合があります。
- (3) 第 4 版では主に文言、図について修正、加筆等を行いました。(令和 2 年 1 月)